

イ 第5学年

(7) 目標

(1) 我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし，環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにする。

ねらい：・我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにすること
 ・環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにすること

*内容の(1)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「我が国の国土の様子」

- ・国民生活の舞台である我が国の国土の自然やそこに見られる生活の様子などを取り上げ，自然環境としての国土の様子や特色を，広い視野から理解できるようにすること

「国土の環境と国民生活との関連」

- ・国土の環境と国民の生活や産業との間には様々な関連が見られることを，具体的に理解できるようにすること

態度に関する目標：

「環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにする」

- ・国土の環境が国民生活や産業の発展に大きな役割を果たしており，その保全や自然災害の防止に努めることが国民生活の維持と向上にとって重要であることに関心をもつようにすること
- ・我が国の国土の特色やよさを理解し，国土に対する愛情をもつようにすること

*この目標を実現するために：

- ・内容の(1)の指導を通して，
 - ・国土の環境が国民の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにするとともに，環境の保全や自然災害の防止が大切であることに気付くようにすること
 - ・我が国の国土の特色やよさ，それを生かした人々の生活，国土の環境の保全や自然災害の防止への工夫や努力を理解できるようにするとともに，国土に対する愛情を育てるようにすることが大切である

(2) 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

ねらい：・我が国の産業の様子や産業と国民生活との関連について理解できるようにすること
・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにすること

*内容の(2)から(4)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「我が国の産業の様子」

- ・農業や水産業などの食料生産にかかわる産業
 - ・工業生産にかかわる産業
- を取り上げ
- ・これらの産業の特色と貿易や運輸などの働き
 - ・産業に従事している人々の工夫や努力
- を理解できるようにすること

「産業と国民生活との関連」

- ・我が国の食料生産や工業生産にかかわる産業が国民生活を支える重要な役割を果たしていること
 - ・国土の環境と深いかかわりをもって営まれていること
 - ・我が国の情報産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていること
- を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする」

- ・我が国の産業がそれに従事している人々の様々な工夫や努力によって発展していること
 - ・そのことによって国民生活の維持と向上が図られていること
 - ・社会の情報化が進展していること
 - ・情報化した社会においては情報の有効な活用が大切であること
- に関心をもつようにすること

*この目標を実現するために

- ・内容の(2)から(4)の指導を通して
 - ・我が国の食料生産や工業生産に従事している人々の様々な工夫や努力によって国民生活の維持と向上が図られていること
 - ・情報産業や情報ネットワークの働きを理解できるようにする
- ・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにすることが大切である

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

ねらい：我が国の国土や産業に関する学習を通して、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、

- ・社会的事象の意味について考える力
- ・調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすること

＊第5学年の内容全体にかかわる能力に関する目標

「社会的事象を具体的に調査する」

- ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりするために、観点や質問事項を決めて、詳しく見たり聞いたりするなどの調査を行うこと

「地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用」する

- ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりするために、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用すること

例)

- ・資料から必要な情報を読み取る
- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる
- ・複数の資料を関連付けて読み取る
- ・必要な資料を収集したり選択したりする
- ・資料を整理したり再構成したりする

「社会的事象の意味について考える力」を育てる

- ・国土の環境保全や自然災害の防止の重要性を国民生活と結び付けて考える力
- ・我が国の農業や水産業などの食料生産にかかわる産業、工業生産にかかわる産業、情報産業が国民生活の維持と向上に役立っていることを考える力

を育てるようにすること

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てる

- ・社会的事象を具体的に調査したり、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりして調べたこと

- ・社会的事象の意味について考えたこと

を表現する力を育てるようにすること

＊この目標を実現するために：

- ・第5学年の内容全体の指導を通して、

- ・我が国の国土や産業に関する社会的事象について、学習問題に即して具体的に調査したり、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある

ができるようにする必要がある

- ・調べたことや社会的事象の意味について考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明することができるようにすること

が大切である

(イ) 内容

(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

我が国の国土の自然などの様子

- ・広い視野からとらえた国土の自然環境やこれに適応しながら生活している人々の様子、国土の環境保全に欠かすことのできない森林資源の働きなど

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える

- ・人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいること
 - ・国土の環境を守り健康な生活を維持・向上させていくために公害の防止に努めていること
 - ・国土の保全などのために森林資源の育成や保護、自然災害の防止に努めていること
- を手掛かりにして国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを具体的に考えることができるようにする

ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土

(内容の取扱い)

(1)ア アの「主な国」については、近隣の諸国を含めて取り上げるものとする。その際、我が国や諸外国には国旗があることを理解するとともに、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

「世界の主な大陸と海洋」を調べる

- ・ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六大陸
 - ・太平洋、大西洋、インド洋の三海洋
- の名称と位置や広がりを取り上げ、地図帳や地球儀などで調べ、白地図などに書き表す
- *その際、世界の中の我が国の位置を確認させ、世界の大陸や海洋と我が国の国土との位置関係や、我が国は周囲が海に囲まれた島国であることなど日本列島の特色を理解できるようにする

→中地理(1)ア

- ・世界の地域構成
- ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分など

「主な国の名称と位置」を調べる

- ・世界の主な国を取り上げ、その国の名称と位置を地図帳や地球儀などで調べ、白地図などに書き表すこと
- *その際、我が国とそれらの国との位置関係を確認させ、産業に関する学習などにおいて活用できるようにする
- *「主な国」の取り上げ方としては、例えば、近隣の諸国を含めてユーラシア大陸やその周りに位置する国々の中から10か国程度、北アメリカ、南アメリカ、アフリカ、オーストラリアなどの大陸やその周りに位置する国々の中からそれぞれ2か国程度を選択することが考えられる
- *取り上げた国の名称と位置を確認するようにし、その際、近隣の諸国については正式な国名が分かるようにする
- *我が国や諸外国には国旗があることやいずれの国でも国旗を大切にしていることが分かり、我が国の国旗を尊重するとともに、外国の国旗を尊重する態度を育てるようにする

→小6社会(3)

- ・世界の中の日本の役割について

「我が国の位置と領土」を調べる

- ・我が国の国土を構成する北海道、本州、四国、九州、沖縄島、北方領土などの主な島の名称と位置、我が国の領土の北端、南端、東端、西端、日本列島の周りの海を取り上げ、地図帳や地球儀などで具体的に調べ、白地図などに書き表すことにより、我が国の位置と領土を具体的にとらえる
- *領土については、北方領土の問題についても取り上げ、我が国固有の領土である、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていることや、我が国はその返還を求めていることなどについて触れるようにする

→中地理(2)ア

- ・日本の地域構成
- ・我が国の国土の位置、領域の特色と変化

小3,4社会(6)ア
・自分たちの県の地理的位置

◇地図帳や地球儀の活用・資料の活用

- ・児童が地図帳や地球儀を活用したり、調べて確認したことを白地図にまとめたりするなどの具体的な活動を取り入れる
- ・我が国の位置を世界の広がりの中でとらえ、言い表すことができるようにする
 - 例) ・我が国は北半球にあり、ユーラシア大陸の東方に位置し、太平洋と日本海などに囲まれている
 - ・南北に連なる大小の島々で構成された島国であり、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦と隣り合っている
- *位置の表し方については、他との関係で位置を示す方法や、緯度と経度で示す方法があることについても取り上げる

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを、広い視野から考える手掛かりとなるようにする

学習の手立ての例

- ・地球儀や地図などを使って日本の位置や主な大陸や海洋、主な国の名称と位置を調べ、日本の位置を大陸や海洋、主な国の位置と関連させながら捉え表現する
- ・トレーシングペーパーで地球儀の大陸を写し、大きさを比較する
- ★テーマ別の世界地図を作成する (様々な世界一、オリンピック参加国とメダルの数 など)
- ★世界の国々の国旗について調べ、分類する
- ★主な国について、国旗や位置などの特徴をもとにクイズを作り、問題を出し合う
- 📍静岡県に多く住む外国人の出身国や静岡県と友好関係にある国を地球儀で探す

イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

(内容の取扱い)

- (1) イ イの「自然条件から見て特色ある地域」については、事例地を選択して取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に扱うこと。

主な学習内容

小3, 4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

「国土の地形や気候の概要」を調べる

- ・国土の主な山地や山脈、平野、川などの地形や地域による気温と降水量の違いなどの気候の概要を取り上げ、
 - ・我が国の地形を全体としてみると山がちで大きな平野が少ないこと
 - ・我が国の気候については四季の変化が見られること
 - ・国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なること
- など、国土全体の地形や気候の大まかな様子や特色を調べる

→中地理(2)イ
・世界と比べた日本の地域的特色
(7) 自然環境

「自然条件から見て特色ある地域の人々の生活」を調べる

- ・地形条件や気候条件から見て特色ある地域を取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に調べること
 - 例) ・地形や気候に合わせた住まいや学校生活などの日常生活の様子
 - ・地形や気候の特色を生かした野菜や果物、花卉の栽培、酪農、観光などの産業
- *事例地の選定に当たっては、
 - ・自分たちの住んでいる地域の自然条件に配慮する
 - ・例えば山地や低地などの特色ある地形条件をもつ地域と、温暖多雨や寒冷多雪などの特色のある気候条件をもつ地域の中からそれぞれ一つ取り上げる

→中地理(2)ウ
・日本の諸地域
(7) 自然環境を中核とした考察

◇地図帳や地球儀の活用・資料の活用

- ・国土の地形や気候の概要については地図帳、立体模型を活用して調べ、白地図にまとめるなどの作業的な学習を取り入れる
- ・自然条件から見て特色ある地域の人々の生活の様子については、事例地を選択して取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に調べる
 - *その際、現地に問い合わせて収集した資料などを活用する

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・日本の主な山地や山脈、平野、川などを白地図にまとめ日本の地形の概要を捉える
- ・3D画像や空中写真において地形の違いを捉える
- ・同じ月における違った地域の写真を提示し、日本における気候の地域差を捉える
- ・山地または低地、温暖多雨または寒冷多雪のそれぞれ一つを選択し、自分の住む地域の人々の生活との違いを比べる
- ★外国人観光客のために、パンフレットを作成し、日本の自然環境の特色を紹介する
- ★テーマ別日本地図を作成する
- 🏠川の upstream と downstream に住む人々の生活を比較する（天竜川、大井川、安倍川、富士川、狩野川 など）
- 🏠静岡県と日本海側の県（新潟県など）の人々の生活の違いを調べる

ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

(内容の取扱い)

(1) ウ ウについては、大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

主な学習内容

小3, 4社会(3) →
・地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、…見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

「公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ」を調べる

- ・大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を取り上げ、公害と国民の健康や生活環境とのかかわりについて調べ、公害を防止することが大切であることを理解できるようにする

例) ・産業の発展、生活様式の変化や都市化の進展などにより増加した廃棄物の不適切な処理の結果として人々に有害な影響を及ぼす公害が発生し、国民の健康や生活環境が脅かされてきたこと

- ・関係の諸機関をはじめ多くの人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られていること

*大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例の一つ選択

◇調査・資料の活用

- ・国民の健康や生活環境に及ぼす影響、公害の防止や生活環境の改善などの取組に見られる人々の努力などについて、取り上げた事例に即して具体的に調べる

*その際、公害の問題を国土の環境保全の観点から扱うようにする

*自分自身や自分の生活とのかかわりでとらえることにより、公害から国民の健康や生活環境の維持・改善に配慮した行動が求められるなど、国民一人一人の協力が必要であることに気付くようにする

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

→中地理(2)ウ(エ)
・環境問題や環境保全を中核とした考察

学習の手立ての例

- ・公害が起こった原因や影響、その後について調べ、考える
- ・日本の産業の発展と公害の分布図を作成し、その関連を考える
- ・公害の防止や環境改善に向けての諸機関（県や市の取組、保健所など）や人々の努力について調べる
- ★公害や生活環境改善に関わる新聞記事を収集して考察する
- ★「こどもエコクラブ」をインターネットで調べ、日本各地の小学生の環境保全の活動を知り、自分のできることを考える
- 🏠静岡県における公害の防止や生活環境改善への人々の取組について調べ、まとめる

エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

(内容の取扱い)

- (1) エ エについては、我が国の国土保全などの観点から扱うようにし、森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力及び環境保全のための国民一人一人の協力の必要性に気付くよう配慮すること。

主な学習内容

小3.4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

小3.4社会(3) →
・地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、…見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

「国土の保全などのための森林資源の働き」を調べる

- ・森林資源の働きと国民生活とのかかわりを取り上げ、国土に広がる森林が、国民生活の舞台である国土の保全などに欠かすことのできない資源として重要な役割を果たしていることを調べる

- ・森林資源の働きと国民生活のかかわり

例) ・国土の土地利用全体に占める森林面積の割合や森林の分布の現状

- ・国土の保全や水資源の涵養などの森林資源の働き

- ・森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力

* 森林で働く人々の仕事を具体的に取り上げ、それらに従事している人々の工夫や努力に気付くようにするとともに、森林資源の育成や保護が大切であることについて考えることができるようにする

* 森林資源を守ることは環境保全につながることや、環境保全を図るためには国民一人一人の協力が必要であることに気付くようにする

* 森林による自然災害の防止には限界があることについても触れる

「自然災害の防止」を調べる

- ・自然災害の防止と国民生活とのかかわりを取り上げ、我が国の国土では地震や津波、風水害、土砂災害、雪害などの様々な自然災害が起りやすいこと、その被害を防止するために国や県などが様々な対策や事業を進めていることなどを調べる

- ・自然災害の防止と国民生活とのかかわり

例) ・地震や津波、火山活動、台風や長雨による水害や土砂崩れ、雪害などの被害の様子

- ・国や県などが進めている砂防ダムや堤防などの整備、ハザードマップの作成などの対策や事業

◇資料の活用・聞き取り調査

例) ・地図や統計、写真などの資料を活用する

- ・関係機関に従事する人に聞き取り調査をする

・インターネットなどで自然災害の防止に関する情報を集める
具体的に調べるようにする

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

* ここでの学習を通して、環境保全のためには国民一人一人の協力が必要であることや、自然災害が起りやすい我が国においては、日ごろから防災に関する情報などに関心をもつなど、国民一人一人が防災意識を高めることが大切であることについても気付くように配慮する

→中地理(2)イ(7)

- ・自然環境
日本の地形や気候の特色

→中地理(2)ウ(7)

- ・自然環境を中核とした考察
自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていること

→中地理(2)イ(7)

- ・自然環境
自然災害と防災への努力

→中地理(2)ウ(7)

- ・自然環境を中核とした考察
地域の自然災害に応じた防災対策

学習の手立ての例

- ・日本の森林分布について白地図に表し、考察する

- ・森林で働く人々の仕事について調べ、森林資源の育成や保護の大切さについて考える

- ・自然災害において防災マップを使い、国や県の対策を調べる

- ・自然災害の新聞記事を収集して考察する

★自然災害への防災マニュアルを作成する

🏠 森林づくり県民税などの使い道など、静岡県の取組を調べる

🏠 「しずおか未来の森サポーター」としての企業の活動を調べる

🏠 天竜川、大井川、安倍川、富士川、狩野川などのかつての水害と、その後の取組について調べる

🏠 予想される巨大地震に対する国や県の備えについて調べる

🏠 静岡県地震防災センターの見学を行う

(2) 我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。

我が国の農業や水産業

- ・米、野菜、果物などの農産物や畜産物を生産する農業や、魚介類を採ったり養殖したりする水産業を指している
- ・これらの食料生産は、国土の自然環境を生かして営まれ、国民の食生活と密接なかかわりをもつ重要な産業である

◎国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考える

- ・我が国の農業や水産業の盛んな地域では、国民の主食である米をはじめ、食生活に欠かすことができない野菜、果物、畜産物、水産物などを生産し、消費地に送り出すことにより、国民の食生活を支えているという、食料生産の意味を考えることができるようにする

◎自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする

- ・我が国の農業や水産業に従事している人々が地形や気候などの自然環境を生かすなど、生産を高める工夫や努力をしていることを具体的に考えることができるようにする

ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。

主な学習内容

小3, 4社会(2) →
 ・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

小3, 4社会(6) →
 ・県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特徴を考えるようにする

イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置
 エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

「様々な食料生産が国民の生活を支えていること」を調べる

- ・様々な食料生産と国民生活とのかかわりについて取り上げ、国民の食生活が主食である米をはじめ、野菜、果物、畜産物、水産物などの主な食料を生産する農業や水産業などによって支えられていることを具体的に調べる

「食料の中には外国から輸入しているものがあること」を調べる

- ・主な食料の自給率や主な輸入先などを取り上げ、国民の食生活を支えている主な食料の中には、国内の各地で生産されたものだけでなく、外国からの輸入に依存しているものがあることを具体的に調べる

◇調査・資料の活用

- 例) ・商店の広告のちらしを手掛かりにして主な食料の生産地を調査して白地図に書き表す活動
- ・地図帳や地球儀、統計資料などを活用して主な食料のうち自給率の低い食料の品目や輸入先などを調べる活動
 - ・ここでの学習と関連付けて、我が国の貿易の役割について扱う

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

→小6社会(3)ア
 ・我が国の経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

学習の手立ての例

- ・給食の食材の産地について調べ、白地図やグラフにまとめる
- ・輸入食料品の増加や食料自給率の低下について調べ、食生活の変化と結びつけて考える
- ・スーパーマーケットの広告から、どのような産地のものが売られているか白地図や表にまとめる
- ・農作物や水産物などの生産量の変化を調べ考察する
- ★米と私たちの生活と関わりについて調べる(例:米に関する地域の祭、米から作られる製品)
- ★食料自給率を上げる方法について考え、討論する
- 📍静岡県のブランド米について調べる
- 📍静岡県の特産物と全国の産地を自然条件などの視点から比較する
- 📍静岡県で行われている地産地消の取組を調べる

イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など

主な学習内容

「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など」を調べる

- ・我が国における主な農産物や畜産物の生産量や主な産地，土地利用の特色，及び主な水産物の漁獲量や主な漁港，漁場などの分布を取り上げ，我が国の農業や水産業の概要やそこに見られる特色を具体的に調べる

◇調査・資料の活用

- ・我が国の農業や水産業の様子を概観し，そこに見られる大まかな特色を調べるために，地図帳や学校図書館の図書，資料などに掲載されている各種の統計資料や分布図などを活用する

- 例) ・我が国の主な農産物の分布図と気候に関する資料
 ・主な漁港と海流に関する資料
 など，複数の資料を関連付けて読み取る活動

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや，自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えることができるようにする

小3, 4社会(6) →
 ・県の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県の特色を考えるようにする
 イ 県全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子や主な都市の位置
 エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

学習の手立ての例

- ・主な日本の農作物の分布と気候や地形との関係を調べ，考察する
- ・主な日本の水産物の漁場の分布と海流や季節との関係を調べ，考察する
- ★農作物や水産物の分布について統計資料を使って調べ，白地図にまとめる
- 🗺️ 静岡県の特産物と全国の産地を自然条件などの視点から比較する

ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

(内容の取扱い)

- (2) 内容の(2)のウについては，農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし，稲作のほか，野菜，果物，畜産物，水産物などの生産の中から一つを取り上げるものとする。
- (4) 内容の(2)のウ及び(3)のウにかかわって，価格や費用，交通網について取り扱うものとする。

主な学習内容

「食料生産に従事している人々の工夫や努力」を調べる

- ・稲作，野菜，果物，畜産物などを生産する農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を取り上げ，
 - ・農業や水産業の盛んな地域の人々が，消費者の需要にこたえ，新鮮で良質な物を生産し出荷するために様々な工夫や努力をしていること
 - ・地形や気候などの自然環境や社会的な条件を生かして生産を高める工夫や努力をしていること
 を具体的に調べる

- 例) 稲 作：品種改良や生産の効率を高めるための技術の改良を進めていること
 味の向上や食の安全確保に努めながら生産や出荷を工夫していることを取り上げること
- 野菜，果物：新鮮で良質な野菜や果物を生産し出荷するために，様々な工夫や努力をしていること
- 畜産物：新鮮な牛乳や肉，卵などを生産し出荷するために，様々な工夫や努力をしていること
- 水産物：漁業技術の改善に努めるとともに，水産資源の保護，育成を図るために栽培漁業などに取り組んでいること

*稲作については必ず取り上げる

*野菜，果物，畜産物，水産物などの中から一つを選択して取り上げる

小3, 4社会(6) →
 ・県の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県の特色を考えるようにする
 イ 県全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子や主な都市の位置
 エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

→中地理(2)イ(7)
 ・自然環境
 →中地理(2)ウ(ウ)
 ・産業を中核とした考察

小3, 4社会(2)イ →
・地域の人々の生産
や販売に見られる
仕事の特色及び国
内の他地域などと
のかかわり

*稲作以外の事例の選択においては、児童の興味・関心や学習経験の広がりなどを考慮し、第3学年及び第4学年において、どのような事例を取り上げていたのかに配慮する

「生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き」を調べる

・農業や水産業の盛んな地域では、運輸の働きにより鮮度を保ちながら生産物を早く消費地へ届ける努力をしていることや、生産物の輸送手段や経路、出荷先や出荷量などを判断するために情報を収集していることなどを取り上げ、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きや情報の利用の様子を具体的に調べる

*生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを具体的にとらえさせ、運輸業について理解できるようにする

例) 野菜の生産に従事している人々が、その鮮度を保つために運輸に携わっている人々と協力して、トラックや鉄道、カーフェリー、飛行機などを利用して遠距離の消費地に出荷していることを取り上げ、生産地と消費地を結ぶ陸上輸送や海上輸送、航空輸送の働きを具体的に調べる

*その際、野菜の生産に従事している人々が、インターネットを活用して相場の情報を市場からいち早く入手し、出荷する場所、量、種類、時期を判断していることなど、農業における情報の利用について取り上げる

*価格や費用について取り扱う

例) 野菜や魚など生鮮食料品の価格は時期や場所によって変わること、生産の過程で様々な費用がかかることや生産物を消費地まで運ぶためには費用がかかることなどを取り上げ、消費者の需要にこたえる生産や運輸の工夫に気付くようにする

*交通網について取り扱う

・我が国の各種の交通網にかかわる資料を活用するようにする

例) 陸上輸送について主な高速道路網や鉄道網の資料を、海上輸送や航空輸送について主な航路の資料をそれぞれ活用しながら、生産物が生産地から消費地までどのように運ばれるのか、およびその輸送経路や輸送手段を調べる活動

◇調査・資料の活用

・農業や水産業の盛んな地域の具体的事例の中から我が国の食料生産を理解する上で典型となる地域の事例を取り上げ、具体的な活動を通して調べる

例) ・食料生産の盛んな地域で生産に従事している人々に手紙などで調査する

・インターネットで生産地が発信する情報を集める

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや、自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・第3・4学年の「生産と販売」で選択しなかった項目について調査する (P57 参照)
- ・バケツ稲の栽培や農家への聞き取り調査をして、農業に従事している人の工夫や努力を検証する
- ・青果市場における農作物の入荷量や価格などを農作物別、産地別に分けて調べ、考察する
- ・スーパーマーケットの食材の産地を調べ、交通網の資料から輸送経路を予想し、検証する
- ・米作りを活性化するための取組や農家の減少に対する取組などを調べる

★今と昔の米作りの違いについて調べ、まとめる

📍焼津市のかつお漁、浜名湖の養殖業など、静岡県で行われている漁業を扱い、日本の漁業の特徴をつかむ

→中地理(2)イ(エ)
・地域間の結び付き
→中地理(2)ウ(キ)
・他地域との結び付きを中核とした考察

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

我が国の工業生産

- ・我が国における工場での生産活動であり、原材料を加工しその形や性質を変えたり、部品を組み立てたりして生活や産業に役立つ製品をつくり出している工業
- ・それらは、生産する製品の種類によって、金属工業、機械工業、石油化学工業、食料品工業などに分類されている

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える

- ・国民の生活や産業を支えている各種の工業製品が、それに従事している人々の様々な工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていることや、国民は様々な工業製品によって便利で快適な生活を送っていることなどを手掛かりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考える

ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること。

小3,4社会(2)イ →
・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

小3,4社会(5)ア →
・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

小3,4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

小3,4社会(6)エ →
・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「様々な工業製品が国民生活を支えていること」を調べる

- ・我が国の工業生産と国民生活とのかかわりを取り上げ、様々な工業製品が国民生活を支えていることを具体的に調べる
例) ・我が国の国民は様々な工業製品を利用して日常の生活を営んでいること
・国民生活とのかかわりの深い農業や水産業、工業など様々な産業においても工業製品を利用して生産活動を営んでいること

◇調査・資料の活用

- 例) ・暮らしの中でどのような工業製品が使われているのかを調査する活動やそれらを工業の種類別に分類・整理する活動などを通して我が国の工業生産と国民生活とのかかわりを具体的に調べる
- ・我が国の農業や水産業、工業などの中で使われている工業製品を取り上げ、それらの工業製品が産業の発展に果たしている役割を具体的に調べる

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(ウ)
・資源・エネルギーと産業

学習の手立ての例

- ・身の回りにある工業製品を用途別に分類する(家事、遊び、衣類など)
- ・工業製品により人々の暮らしがどのように変わったか調べる
- ★暮らしの中の工業製品を、金属工業、機械工業、化学工業、繊維工業、食料品工業などに分類し、図表などであらわす
- ★未来の工業製品を予想し、イラストや言葉で表現する
- 📍静岡県で作られている工業製品を調べる

イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など

小3, 4社会(6)イ →
 ・県全体の地形や主な産業の概要, 交通網の様子や主な都市の位置
 小3, 4社会(6)エ →
 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」を調べる
 ・我が国の主な工業生産の種類, 工業地帯や主な工業地域の分布などを取り上げ, 我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的に調べる

◇調査・資料の活用

・分布図や統計資料などの活用を図る
 例) 我が国の工業の種類別や規模別の生産額, 工場数, 工業地帯や主な工業地域の分布, 立地などを調べ, 我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的にとらえられるようにする

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

学習の手立ての例

- ・工業地域の分布や工業製品の種類, 生産額を白地図などにまとめ, その特徴を調べる
- ★各工業地域の共通点や違いを調べ, 考察する
- ★昔と今の工業生産の特色について, 統計資料から考察する
- 📍静岡県における主な工業製品や, その分布を調査し, 他県と比較する

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力, 工業生産を支える貿易や運輸などの働き

(内容の取扱い)

- (3) 内容の(3)のウについては, 工業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし, 金属工業, 機械工業, 石油化学工業, 食料品工業などの中から一つを取り上げるものとする。
 (4) 内容の(2)のウ及び内容の(3)のウにかかわって, 価格や費用, 交通網について取り扱うものとする。

小3, 4社会(6)イ →
 ・県全体の地形や主な産業の概要, 交通網の様子や主な都市の位置
 小3, 4社会(6)エ →
 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「工業生産に従事している人々の工夫や努力」を調べる
 ・工業の盛んな地域の事例を取り上げ, 我が国の工業生産に従事している人々が, 消費者の多様な需要にこたえ, 環境に配慮しながら, 優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを具体的に調べる

例) ・原材料の確保や製造の過程
 ・製品の販売や消費地への輸送
 ・新しい技術の開発
 ・資源の有効な利用と確保
 ・環境保全への取組

*具体的事例については, 金属工業, 機械工業, 石油化学工業, 食料品工業などの中から一つを選択して取り上げること

*児童の興味・関心や学習経験の広がりを考慮し, 第3学年及び第4学年において, どのような事例を取り上げていたのかに配慮する

「工業生産を支える貿易や運輸の働き」を調べる

・原材料の確保や製品の販売などに見られる貿易や運輸などの働きを取り上げ, 貿易や運輸などが工業生産を支える大切な働きをしていることについて具体的に調べる

例) ・自動車の生産に必要な鋼板の材料となる鉄鉱石が外国から船で運ばれ輸入されていること
 ・我が国で生産された自動車が国内だけでなく世界の様々な国や地域に輸出されていること
 ・貿易や運輸のほかにも工業生産を支えるものとして, 情報の働きについて取り上げる

→中地理(2)ウ(ウ)
 ・産業を中核とした考察

→中地理(2)イ(エ)
 ・地域間の結び付き
 →中地理(2)ウ(キ)
 ・他地域との結び付きを中核とした考察

* 価格や費用について取り扱う

- 例) ・製造の過程で様々な費用がかかること
 ・原材料の確保や製品の輸送のための費用がかかること
 ・それらの費用が価格に影響を与えていること

* 交通網について取り扱う

- ・我が国の各種の交通網にかかわる資料を活用する
 ・工場で使用する原材料がどこの国や地域からどのように運ばれてくるのか、また、工場で生産した製品がどこの国や地域にどのように運ばれているのか、それぞれおよその輸送経路や輸送手段を調べる
 例) ・陸上輸送について主な高速道路網や鉄道網の資料
 ・海上輸送、航空輸送について主な航路の資料

→小6社会(3)ア

・我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

◇見学・調査・資料の活用

- ・工業の盛んな地域の事例を取り上げ、見学を取り入れたり視聴覚資料を活用したりして具体的に調べられるようにする
 * 原材料の確保や製品の販売と輸送に見られる工夫については貿易や運輸などの働きとの関連を図る
 * 製造の過程に見られる生産の工夫として製品の研究開発などを取り上げる

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・ 取り上げる工業の種類が、第3・4学年で扱った内容と重ならないよう配慮する(P57 参照)
- ・ 身近な工業製品をじっくりと観察し、どのような部品からつくられているか調べる
- ・ 工場の見学や聞き取り調査、工業製品の模擬製作などの体験活動から働く人の工夫や努力について考える
- ・ エコ製品などの新しい技術やリサイクルシステムなどの環境保全の取組について調べ、まとめる
- ・ 工業製品の原材料や部品がどこから入荷され、製品がどこへ出荷されるかを調査し、地図などにまとめる
- ・ 交通網の地図に工業地域の分布を重ね合わせ、関連について考える
- ・ 日本の輸出入について、統計資料を使って調べ、日本の貿易の特色について考える
- ★ 上記で選択した工業以外について調べる
- ★ 工業製品の原料生産国について調べる
- 📍 静岡県における工業と交通網の関係、長所と課題について調べ、まとめる

(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

我が国の情報産業

- ・多種多様な情報を収集し、選択・加工して提供している放送、新聞などのマスメディアや、インターネットなどの情報ネットワークを形成して情報を文字、音声、映像などで瞬時に伝えるサービスを提供している産業

情報化した社会の様子

- ・通信技術の発達と高度化によって情報の生産や相互のやりとりが大量・高速・広域化し、教育、文化、産業、日常生活などの様々な場面において大きな変化が見られること

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを考える

- ・我が国の情報産業が様々な情報を提供し、国民の多くがそれらを多方面で利用していることや、情報ネットワークの働きが公共サービスの向上のために利用されていることなどを手掛かりにして、情報化の進展が国民生活の向上や産業の発展に大きな影響を及ぼしていることについて考える

◎情報の有効な活用が大切であることを考える

- ・情報の有用性や役割、情報の適切な収集・活用、発信や伝達の仕方、情報化のもたらす様々な影響などをもとに、情報化した社会において人々が主体的に生きていくためには情報を有効に活用することが大切であることについて考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をしようとする能力や態度を身に付ける

ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり

(内容の取扱い)

(5) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アについては、放送、新聞などの中から選択して取り上げること。

主な学習内容

小3,4社会(6) → イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

小5社会(2)ウ
・生産物の輸送手段や経路、出荷先や出荷量などを判断するために情報を収集していること

小5社会(3)ウ
・工業生産を支えるものとして、情報の働きについて取り上げる

「放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり」を調べる

- ・日常生活や産業における情報手段や情報の利用の様子を取り上げ、放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわりを具体的に調べる
例)・近年の情報化の進展に伴い、我が国ではテレビやラジオ、新聞、電話、コンピュータなどの様々な情報手段が普及していること
・人々は放送や新聞などの産業が発信する情報を日常生活や産業活動の多方面で活用し、様々な影響を受けていること
*放送、新聞などの中から一つを選択して取り上げる
*事例の選択に当たっては、地域の実態や児童の興味・関心、教材の収集状況などから判断する

◇調査・資料の活用

- ・人々が日常生活や産業活動において、必要な情報をどのように入手しどのように生かしているのかなどについて具体的に調べる
*マスメディアの働きや、それを通して送り出された情報が国民生活に大きな影響を及ぼしていることを調べ、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えをまとめることが大切である

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(エ)
・地域間の結び付き
→中地理(2)ウ(4)
・他地域との結び付きを中核とした考察

学習の手立ての例

- ・ 情報を得る手段の昔と今の違いを調べ年表にまとめる
- ・ 様々な仕事の人に、仕事の上で必要な情報と、その入手方法を聞き取り調査する
- ・ 新聞・テレビ・インターネットの情報を比較し、それぞれの特徴や有効な活用方法を考える
- ・ 情報を発信する側と受け取る側の留意点を考え、話し合う
- ★昔と今の新聞を比較し、違いをまとめる
- ★同じ事象を扱った様々なマスメディアの情報の特徴を比較し、情報を活用する際の留意点を考えまとめる
- 📍静岡県の新聞と全国紙を比較し、違いについて考察する

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

(内容の取扱い)

(5) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ イについては、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げること。

主な学習内容

小3,4社会(6)イ →
・ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主要都市の位置

「情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」を調べる

- ・ 情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの事例のいずれかを取り上げ、多様な情報を必要に応じて瞬時に受信したり発信したりすることができる情報ネットワークの働きが公共サービスの向上のために利用され、国民生活に様々な影響を及ぼしていることを具体的に調べる
- * 教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げる

例)・インターネットを活用して遠隔地の学校と授業を行っている事例

- ・ 福祉や医療などの施設や機関が情報を共有し、地域の人々へのサービスの向上に努めている事例

- ・ 地震や土砂災害、犯罪の発生を即時に知らせる取組の事例

- * 事例の選択に当たっては、学校、保育所や福祉センター、病院、地域の人々が参加している防災関係の取組など、児童やその家族、身近な地域の人々の日常生活との結び付きが見られるものを取り上げる

- * 情報ネットワークの利便性に目を向け、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることを具体的に調べることにより、情報を有効に活用しながら生活する必要があることや、情報の送り手として、発信する情報に責任をもつことが大切であることについても触れる

◇調査・資料の活用

例)・公共サービスにかかわる仕事に従事している人から話を聞く

- ・ パンフレットなどの資料を効果的に活用する
- ・ コンピュータを実際に使ってインターネットで情報を収集したり、発信したりする活動を取り入れる

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考える

→小6(2)ア

- ・ 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

→中地理(2)イ(1)

→中地理(2)ウ(4)

- ・ 他地域との結び付きを中核とした考察

学習の手立ての例

- ・ 病院(学校・福祉施設)における情報の活用の仕方(情報ネットワーク)を聞き取り調査などによって調べ、その利点と課題を考える
- ・ 大きな地震が起こった後、どのような情報をどのように入手したらよいか考える
- ・ 情報ネットワークが広がることによる社会の変化について考察する
- ★学校のホームページ作成作業等を通して、情報を発信する際に気を付けることについて考え、話し合う
- ★未来の情報ネットワークの活用方法を考え、表現する
- ★扱った情報ネットワーク以外の事例について調べる
- 📍予想される巨大地震に対する静岡県の防災ネットワークの取組について調べる